

全国高等専門学校デザインコンペティション 2009 in 豊田開催にあたり (デザコン 2009 in 豊田) 趣 意 書

国立豊田工業高等専門学校長 末松良一

「全国高等専門学校デザインコンペティション」(通称：デザコン)は、全国の高等専門学校で競われるロボットコンテスト(通称：ロボコン)、プログラミングコンテスト(通称：プロコン)に続く、第三の競技です。

デザコンの始まりは、昭和52年(1977)に明石高専と米子高専の建築学科で行われた研究交流シンポジウムであり、その後、参加校を増やし、形態を変え発展して来ました。

平成16年(2004)から主催は高等専門学校連合会となり、デザインの領域を「人が生きる生活環境を構成するための総合的技術」と捉え直し、建築学科の枠を廃し高専全体が取り組む「全国高等専門学校デザインコンペティション」に生まれ変わりました。

デザコンは、主に土木・建築系学科の学生を中心にして全高専生が参加するもので、生活環境に関連した様々な課題に取り組みせ、より良い生活空間を考えさせ提案する力を育成することを目標とするとともに、各高専で養い培われた学力、デザイン力の成果を基に作成した作品を競いあい、高専授業の学習を超えた体験と互いの技術力が刺激を与え合う貴重な機会となっています。

高等専門学校連合会主催の下で、主管は初年度の平成16年度石川高専、続いて平成17年度明石高専、平成18年度都城高専、平成19年度徳山高専、平成20年度高松高専により開催されました。

平成21年度は豊田高専が主管で文部科学省、国土交通省、愛知県、豊田市をはじめとする各種公共団体の後援をいただき、デザコンを開催することとなりました。

今回のデザインコンペティションは『デザコン 2009 in 豊田』とし、「やさしさ」をメインテーマとして、4部門を企画して各競技を実施します。

本大会が当地で開催されることは、各地域のものづくりや科学技術力を認識していただくとともに、高専生の技倆の高さを知っていただき、高等専門学校が目指している人材育成の成果を社会に示す貴重な機会ともなることを期待しつつ、さらに、高専生という若者の創造性とチャレンジ精神を育むために、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

本大会を開催するにあたり、今回も大会を成功に終わらすために寄付金をお願いすることにいたしました。皆様の協賛・広告掲載金等の寄付金により運営されるところが大きく、皆様のご協力がなくては開催が進みませんので是非協力を賜りたく存じます。

また、各関係方面のお知り合いの方々がございましたら、宜しくご協力、ご協賛を賜りたく存じます。

本趣旨にご理解・賛同をいただけます場合は、別紙「特別協賛・協賛・広告協賛金の申込みについて」により、協賛等の申込みをいただきますようご案内申し上げます。